

明光義塾 情熱空間グループ

ホームページURL

: <http://www.946jp.com/meiko/>

フェイスブックページ

: <https://www.facebook.com/jounetsukukan/>



2019.9月号

秋は「勉強時間の確保」と「夏からの継続」がカギ

Q. 秋に勉強につまずきやすいのは、なぜ？

内的要因

- ①夏休み中の不規則な生活が元に戻らない
- ②授業に集中できず、やる気が起きない



外的要因

- ③授業のスピードが上がってついていけない
- ④内容が難しくなって理解ができない

A. つまずかないための3つのポイント

その1 生活リズムを夏休み前の状態に

夏休みからの切り替えを図るために、初めのうちは今より気持ち1時間早く寝るよう心掛けましょう。土日でも夜更かしはせず、できるだけ普段の起床時間に近づけるようにし、規則正しい生活を意識しましょう。

その2 塾での学習の継続

夏期講習で理解できたこと、まだ課題になっていること、新しく見つかった課題など、今の自分がどんな状況かを振り返ってみましょう。確認テストや月例テスト（模擬試験）の結果も参考に、通塾教科について教室長や先生と相談しましょう。夏期講習でコツがつかめた教科は引き続き通塾を考えてみましょう。

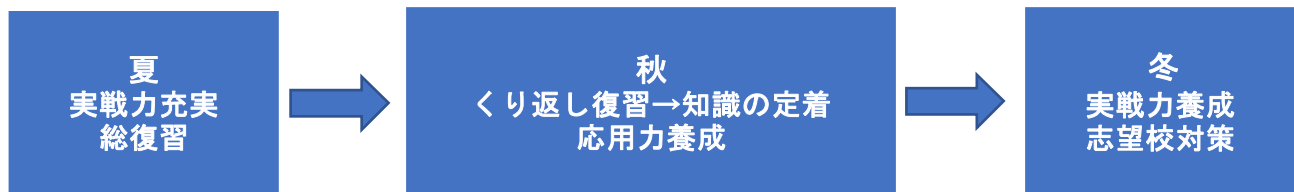
その3 家庭学習の継続

夏休み中と比べると自由に使える時間は減少するので、毎日少しでも机に向かう姿勢が大きな差につながります。日頃から少しずつでも取り組んでおくと、課題が明確になってテスト直前の対策も立てやすくなります。明光義塾の定期テスト対策授業もうまく活用して、家庭学習も充実させましょう。

受験生の「夏がんばったから大丈夫！」はキケン！？

受験生のみなさんは、9月の時点で学校生活の8割方を過ごしたことになります。秋以降新しく学習する内容はもちろんですが、それまでに習った内容が入試に直結することはいうまでもありません。よって、これから新しく習う単元と、これまで習った単元の両方の復習をバランスよく行っていくことが大切です。

夏の成果を出すためには



上の図は、夏に学習したことが秋、冬を通じて受験につながっていくイメージ図です。秋の役割は、夏に学習した内容を定着させること。そして定着した内容を使って、実戦力をつけていくことです。基礎基本が定着していない状態では、いくら難しい問題を解いても、夏の成果は期待できません。夏期講習のテキストを本棚にしまうのではなく、定着するまでは1冊のテキストを2回、3回とくり返し解きましょう。

学習した時に一つひとつしっかり理解していくことが大切！

偏差値(SS) 後編

(8月号の続き) 一般的に、偏差値60で全受験生の上位約16%、偏差値40で下位約16%の位置になります。現在の釧路学区の中3生の人数は1868名。16%で約300名。湖陵高校(理数科と普通科を合わせた定員240名)を志望する場合は、偏差値60が目安になることが分かるかと思います(内申点によって異なります)。

また、偏差値を1上げるためには、300点満点のテストで4~5点、500点満点のテストでは、8~9点上げる必要があります(テストの難易度や受験者によって異なります)。志望校合格ラインとの差や目標点設定のための参考にしてください。

現在の中1生の入試から、裁量問題が廃止され、500点満点に変更になります。この変更により、過去の得点のデータが参考にならなくなるので、今まで以上に偏差値に注目していただきたく思います。

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 Tel 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

台風女と台風一過

雨女、晴れ男、そんな言葉を耳にしますが、私は台風女と称されていました。私が旅行の予定を立てると台風がくる、入学式のようなハレの日もことごとく嵐になるから、と。先日、千葉の友人らが釧路に遊びに来たのですが、一緒に出掛けた日は雨風も強く、とてもドライブ日和とはいかない天気でした。が、私が仕事のため離脱したその翌日は台風一過を体現したようなカンカン照りになり、友人らは無事に旅行を楽しめたそうです…。

低気圧が来る前より晴れたので、結果的には良かったのでしょう。実際に私が呼んだとは思いません(思いたくもありません)が、台風女もたまには役に立つもの、と思う事にしました。台風が如くにいろいろな部分で苦言を呈する事もありますが、その後は何かよいものが残るもの、と耳を傾けてほしいなあ、と願う私でした。

釧路春採SC教室 平山 由香利 Tel 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

入試制度改革と現代文

2020年入試制度改革と言えば、共通テストが導入されて、英語は外部資格が優遇されて…等々、様々な情報が飛び交っています。注目を集めているのは英語についての改革ですが、決して忘れてはいけないのが現代文の出題傾向が変わることです。これは大学入試だけの話ではなく、高校入試においても入試制度改革の影響は大きいと予想されます。近年高校入試の国語の問題に資料を読んで自分の考えを記述する問題が出題されるようになりましたが、これは明らかに入試制度改革を意識した出題だと言えます。また、共通テストの方向性を見てみると、国語以外の全ての科目で問題の文章量が大幅に増え、総合的な国語力が要求されるようになってきています。現代文の攻略法は普段から様々な文書に触れること、読書の秋の今こそいろいろな文章に馴染むようにしてください。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 Tel 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

勉強と筋肉

昔はどれだけ食べても痩せていたのが、まるで嘘か記憶違いかのように、今では食べれば食べるだけきちんとお腹が出てきます。決心して効率の良い筋トレに関する情報を集めだすものの、情報過多のこの時代、そんなものはそれこそ無数にあるのです。私はあっけなくその荒波にもまれ、腹筋一つせずそっとノートパソコンを閉じるのでした。月日は流れ、私はある一つの動画に出逢いました。「ただ一つ、自分ができるメニューを毎日続けて! 効率の良い方法は、ある程度筋トレに慣れてからもう一度考えればいい。」芸人なかやまきんに君の動画です。私はハッとしました。慣れてもいけないものについて、いきなり高度な知識を得ても、それを使いこなすことはできないのだ。…それは勉強も同じです。「本当に勉強するのが苦手だという君! まずは、ただ一つ、自分ができるメニューを毎日続けて!」

中標津教室 堀 正太 Tel 0153-74-0900
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

イチゴ始めました (2)

イチゴは実は寒冷作物なのです。大別すると「冬イチゴ」と「夏イチゴ」に分類されるのですが、前者はシャレではなく1と5のいちご。つまりは1月から5月までが出荷時期です。後者は改良品種であって「四季なりイチゴ」とも呼ばれますが、暑さに強く改良されているものの、それでも本州・九州・四国での夏場の栽培はまず不可能。冷涼な長野県などのごく限られた地域(内陸性気候)でのみ栽培されています。スーパーで買い物をすると思いますが、真夏はイチゴの取り扱いはまずありませんよね。(ですから夏場の業務消費は、食味に劣る輸入イチゴに頼っているのです)冷涼な気候を逆手に取り、イチゴが品薄にある端境期(はざかいき)に照準を定めて出荷できるというわけで、涼しい我が釧路での夏イチゴ栽培は圧倒的に有利なのです。《釧路イコール、夏イチゴの一大産地》。そう知れ渡るよう、イチゴの方も事業拡大して参ります!

株式会社 情熱空間 代表取締役 三木 克敏